

口語 文語 對照助動詞活用表

種類	活用	口語の活用形					文語の活用形								
		(本體)	未然形	連用形	終止形	連體形	假定形	命令形	(本體)	未然形	連用形	終止形	連體形	已然形	命令形
使役	下一段	せる	させ	せ	させる	せる	せ	せ	させる	せる	せ	せ	させる	せる	せ
受身	下一段	れる	られ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ
可能	下一段	れる	られ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ
敬語	下一段	れる	られ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ	れ	られる	れる	れ
時	去過と了完	た	たら	たり	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た	た
希望	ク活用	たい	たかり	たく	たい	たい	たい	たい	たい	たい	たい	たい	たい	たい	たい
打消	ク活用	ない	なかり	なく	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない	ない
指定	特殊	だ	だらう	だつた	だ	(だ)									
推量	特殊	まい	だらう	う	まい										
量	特殊	う	だらう	う	う										
比況	特殊	た	だらう	た	た										
種類	活用	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊	特殊

(注意) (一)助動詞の活用表は、助動詞の語幹と語尾とを分けないで活用形を示すのを便とする慣例に従つた。
 (二)「す」「使役と敬語」「けむ」「過去の推量」のやうに、意味の單一でないものは、どちらにも記した。
 (三)全語に()をつけた活用形は、稀に用ひるか殆ど用ひないものである。
 (四)口語の比況の助動詞としたのは、二種の活用が相補ひ合流して出来たものと見なす。

對照形容詞及び形容動詞活用表

		語				文				
		用		形		語幹		活用		
		終止形	連體形	假定形	命令形	の例	未然形	連用形	終止形	連
		い	い	けれ		善	く	く	し	
		しい	しい	しけれ		正	しく	しく	し	
				〔け〕れ		多か	ら	り	り	
		(な) だ	(な だコト)			静かな	ら	り	り	
						判然た	ら	り	り	

とシク活用とがあり、形容動詞にはラ行變格及び特殊活用(口語)がある。「静か」のを見なす。

正誤表

頁	行	誤	正
一〇二	五	翌年 動詞と	翌月 動詞と形容動詞と
二〇一	四	(形容動詞の例脱落)	<p>静か { だら[う] だつ[た] だ[こと]</p> <p>四字</p> <p>十四字</p> <p>標準式の本質</p> <p>jūbako</p> <p>西は (西)</p> <p>方言區割</p> <p>(削除)</p> <p>一 等字 八〇七、二等字 一三三八、 三 等字 一八〇一、四 等字 一七三二、</p>
同	五	二字 十二字 (上欄に脱落)	
三九八	二	jūbako	
四〇一	八	西は (東)	
四六九	一三	言區割	
四七三	一	特殊やうだ	
四八三	一	やうだやうな	
四八五	四	(終りに脱落)	
附録助動詞活用表	口語推量の項		
附録實用漢字等級表	第例五言		

昭 和 七 年 六 月 五 日 印 刷
昭 和 七 年 六 月 十 日 發 行

現 代 國 語 精 說

著 者 日 下 部 重 太 郎

發 行 者 中 村 時 之 助
東 京 市 牛 込 區 辦 天 町 一 七 四 番 地

印 刷 者 福 井 安 久 太
東 京 市 芝 區 田 村 町 五 十 一 番 地

印 刷 所 安 久 社 印 刷 所
東 京 市 芝 區 新 橋 塚 房 森 口 角

定 價 四 圓 十 五 錢

發 行 所

東 京 市 牛 込 區
辦 天 町 一 七 四 番 地

中 文 館 書 店

電 話 牛 込 三 三 二 五 番
振 替 東 京 三 八 四 二 七 番

(學 文 國 語 國)

<p>廣島文理科大学教授 文學士 鈴木敏也先生著</p>	<p>增訂 概觀日本文學史潮</p>	<p>四版 菊判全一册洋裝 紙數四五〇頁 定價金四圓五拾錢 送料金拾八錢 我邦二千有餘年間の文學の精華を最も詳細に組織的體系に依り思潮の推移を主として批評す。文學史中第一位を占むべきを確證す。</p>
<p>廣島文理科大学教授 文學士 鈴木敏也先生著</p>	<p>室町文學選集</p>	<p>新版 四判全二册洋裝 紙數三三〇頁 定價金貳圓貳拾錢 送料金拾八錢 當時の文學史要を掲げ次に室町前期、中期、後期二百六十年間の各種文學の代表的傑作を擇集す。</p>
<p>廣島文理科大学教授 文學士 鈴木敏也先生著</p>	<p>江戸文學選集</p>	<p>八版 四判全二册洋裝 紙數四五〇頁 定價金參圓貳拾錢 送料金拾八錢 江戸文學史の概略を敘し同時代の代表的作品小説淨瑠璃脚本和歌俳句狂歌川柳等劃切なる批判適當な註を加へたもの</p>
<p>廣島文理科大学教授 文學士 鈴木敏也先生著</p>	<p>明治文學選集</p>	<p>十版 四判全二册洋裝 紙數三五〇頁 定價金貳圓貳拾錢 送料金拾八錢 本書は明治文學史の概略を敘し其時代の傑作名文を執り、深代なる批判を加へたる現代國文學研究の一大道場である。</p>
<p>東京高等師範學校教授 文學士 垣内松三先生著</p>	<p>國語教授原論</p>	<p>新版 菊判全一册洋裝 紙數五〇〇頁 定價金四圓五拾錢 送料金拾八錢 國語教授術や方法論を超越した學理的的研究の基礎で先驅者として眞摯なる所説は誰人も肯定し得る。一般教育家、文檢受檢者の必讀書。</p>

(學 文 國 語 國)

東京女子高等師範學校 教授 文學士 佐伯常麿先生著	東京高等師範學校講師 芝野六助先生著	東京高等師範學校講師 芝野六助先生著	前東京女子高等師範學校訓導 土屋敏雄先生著	成城小學校訓導 奥野庄太郎先生著
女子作文新編	尋常小學 國語讀本批判的解釋 一學年用	尋常小學 國語讀本批判的解釋 二學年用	最新國語便覽	學習室文庫
新 版 菊判全一冊洋裝 紙數 五〇〇頁 定價金壹圓五拾錢 送料金拾八錢	三 版 菊判全一冊洋裝 紙數 三四〇頁 定價金貳圓七拾錢 送料金拾八錢	再 版 菊判全一冊洋裝 紙數 四三〇頁 定價金參圓三拾錢 送料金拾八錢	新 版 三五判全二冊洋裝 紙數 四五〇頁 定價金貳圓貳拾錢 送料金拾八錢	新 版 一二期三期四期五期六期 全全全全全全全全 三十三十三十三十三十 冊冊冊冊冊冊冊冊 紙數各各各各各各各各 二千五百冊 送料二角 別名紙 送料二角
作例を諸大家に引用し、學生に取用し、教科書用、練習用、兼備、卷末日用文には、練習の模範を示す、懇切丁寧なる好著。	教育界に於て種々と論議せられたる根柢を、小學校國語教授の標準を本書に依つて完全に培ふ事が出来る。懇切なる新研究である。	小學校國語讀本教授上の根柢を確立する事、本書に若くはなく、最も新なる新研究として、教育界に推奨し得るものと信ず。	國語一切に涉り兒童の最も誤謬多きものに就て一字一語忠實に其の資料を調査せしものである。	世界の著名なる兒童文學に勿論、科學、地理、逸話、傳記等に涉り広く紹介す。クラスライブラリーとして好適。

(國語國文學)

<p>成城小學校訓導 奧野庄太郎先生著</p>	<p>東西幼年童話新選 尋常一・二・三年程度 菊の巻 楓の巻 櫻の巻</p>	<p>新版 各卷全一册宛 菊グロス洋裝 紙數各五百頁 定價金貳圓宛 送料各貳拾七錢</p>	<p>本童話選集は純粹に子供の爲の童話です。御家庭に必ず御さなへを願ひます。</p>
<p>成城小學校訓導 奧野庄太郎先生著</p>	<p>東西童話新選 尋常四・五・六年程度 天の巻 地の巻 人の巻 文の巻</p>	<p>新版 各卷全一册宛 菊グロス洋裝 紙數各五百頁 定價金貳圓宛 送料各貳拾七錢</p>	<p>子供の爲に書かれたグリムやアンデルセン其外面白い童話を子供の爲にやさしく書いた良書。</p>
<p>成城小學校訓導 奧野庄太郎先生著</p>	<p>各科學習室文庫 地理物語</p>	<p>新版 全三十册箱入 定價金貳圓 送料金貳拾七錢</p>	<p>飾る本でなく、眞箇に讀む本、而も價至廉。一學級何十人でも一時に讀める。</p>
<p>成城小學校訓導 奧野庄太郎先生著</p>	<p>各科學習室文庫 日本歴史物語</p>	<p>新版 全三十册箱入 定價金貳圓 送料金貳拾七錢</p>	<p>第一期日本地理物語に次ぐ第二期日本歴史物語である。二千年間の歴史を面白く爲になるやうに書いてある。</p>
<p>平山美佐男先生著</p>	<p>國語教育 漢字短句讀本</p>	<p>新版 四六判全一册 定價金五拾錢 送料金六錢</p>	<p>徵(モウシ)徵風(モウカウ)徵(モウカウ)徵(モウカウ)そよぐの如き面白き短句約二千を蒐む、音訓讀法の學習。</p>

(學 文 國 語 國)

<p>國學院大學教授 松下大三郎先生著</p>	<p>國學院大學教授 松下大三郎先生著</p>	<p>國學院大學教授 松下大三郎先生著</p>	<p>福岡高等學校教授 安田喜代門先生著</p>	<p>國學院大學教授 松下大三郎先生編</p>
<p>改撰標準日本文法</p>	<p>標準漢文法</p>	<p>標準日本口語法</p>	<p>上代歌謠の研究</p>	<p>國歌大觀</p>
<p>重版</p>	<p>重版</p>	<p>新版</p>	<p>新刊</p>	<p>全二冊</p>
<p>菊判全一冊洋裝 紙數八百頁餘 定價金六圓五拾錢 送料金參拾六錢</p>	<p>菊判全一冊洋裝 紙數八百四十頁 定價金六圓五拾錢 送料金參拾六錢</p>	<p>菊判全一冊洋裝 紙數四百四十頁 定價金參圓五拾錢 送料金貳拾七錢</p>	<p>菊判全一冊洋裝 紙數四百五頁 定價金參圓五拾錢 送料金拾八錢</p>	<p>四三倍背皮洋裝 紙數二千六十六頁 定價金貳拾八圓 送料金八拾壹錢</p>
<p>我邦の國文法の第一人者たる聲譽を擔へる氏が約三十年間の研鑽の成果を發表せるもので學界の至寶とせらる。</p>	<p>松下教授はその最も得意とする理論文法學を創設しその基礎に依つて誰人も企及し得ざりし漢文法を完成す。</p>	<p>口語文典の創始者たる著者が多年研究の成果で従来の文語文典の換骨奪胎的のものと異なり口語の本質を捉ふ。</p>	<p>歌謠を通じて上代人の精神生活の最も主要なる方面を備さに檢討し而して時代の背景環境等を最切實に考察す全卷卓見に滿つ。</p>	<p>編者が心血を注げる國家的大出版上代に於ける國歌のすべてをおさめ上の句下の句いづれよりするも檢出自在なり國文學者必備の書。</p>

(學 文 國 語 國)

<p>國學院大學教授 松下大三郎先生編</p>	<p>續 國 歌 大 觀</p>	<p>全二冊</p>	<p>四三二倍背皮洋裝 紙數千百十六頁 定價金拾七圓 送料金八拾壹錢</p>	<p>和歌が國文學の中樞的地位を占めし上代より中世へかけての國歌を集めてすべてに索引を付したるもの。上代和歌の定本である。</p>
-----------------------------	----------------------------------	------------	--	---